

星条旗と日本の賃金の行方

平成25年11月12日

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 多根幹雄

10月に心配されたアメリカのデフォルトの危機も、土壇場のところでアメリカ議会が妥協しなんとか先延ばしにすることができた。QE3もしばらく継続というようなムードも出てきて、アメリカの株式市場も堅調に推移した。ただ、ドイツのメルケル首相への盗聴事件や、オバマ大統領の看板政策であるオバマケアもトラブル続き、また中東での指導力の無さもあってアメリカの政治についてはすっかりイメージダウンしたままだ。アメリカは本当に大丈夫なのだろうか。

政治的な弱さとは裏腹に、経済の方は大いに期待している。まずはエネルギー。シェールガスはインフラ整備に時間がかかるだろうが、着実にアメリカのエネルギーコストを下げていこう（もっとも地下水の汚染など環境問題は懸念材料だが）。また先進国では珍しく毎年300万人規模で人口が増えている。多くの移民は安い人件費を提供してくれる。また何と言っても、楽天の田中投手も含め世界中からトップの人材を集める吸引力はあいかわらず健在だ。天才の行方が今までも国の未来を決めてきたが、これからはますますその影響力が大きくなるだろう。さらにグーグル、フェイスブック、アップル、アマゾン等々、これらの企業にわれわれの情報はほとんど握られているようなものだが、すべてアメリカ企業だ。アメリカ企業恐るべし。 - - - という中で中期的に期待が大きいアメリカ経済だが、目先のアメリカの株式市場については、本格的な上昇にはほんの少しだけ時間がかかるかもしれない。言い換えれば、今が日本も含め最高に良い追加投資のチャンスとなりそうだ。

ところで安倍政権は賃金の増加を期待しているようだが、はたして実現するだろうか。実際にそうなるかどうかはわからないが、足元では新卒採用も昨年までとは一変して売り手市場になっているという話も聞くし、団塊の世代も労働市場から離れて行くので、もしかしたら現実のものとなるかもしれない。

しかし、賃金アップに多くを期待するのは難しいだろう。円安の影響で様々なコストが上昇、さらには消費税のアップと出費が増加するスピードには勝てない。ならば、どうすべきか？ - - - 今こそお金にしっかり働いてもらおう。

日本は長い間デフレ、円高の環境にあった。そんな時にお金をゆっくりと銀行預金（実際は無担保かつほぼ金利ゼロで銀行にお金を貸しているに等しい）で休ませていた人が多かったと思う。このことはデフレ、円高の時代は間違いではなかった。しかしこれからは違う。しっかり資産に投資をして今までの分をたっぷりと取り返していこう。おそらく期待以上の働きをしてくれることだろう。

長期投資も始める時が肝心だ。これからは自分とお金のダブルインカムが当たり前の時代になるだろう。

ファンド概況

基準価額	11,088円	純資産総額	620百万円
設定日	2008年4月24日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

期間別騰落率(%)

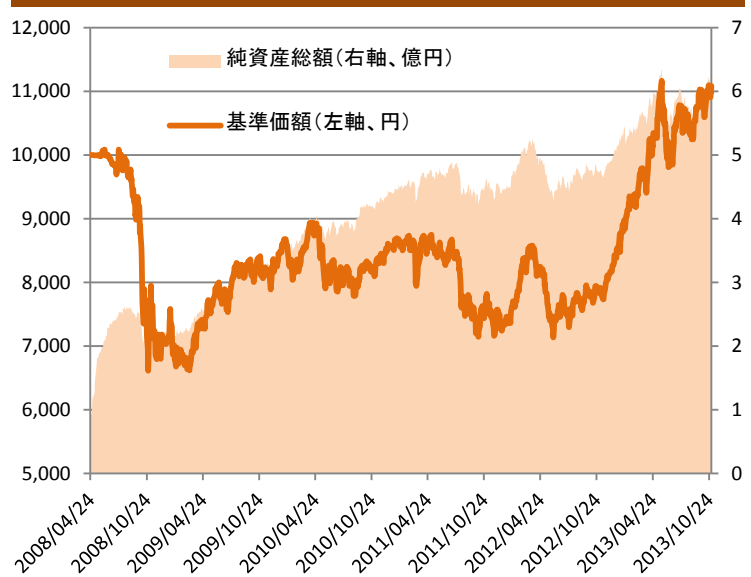
1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
0.62	6.03	7.63	41.54	35.92	10.88

分配金(円) 直近3期を表示

3期 ('11/2/25)	4期 ('12/2/27)	5期 ('13/2/25)	累計
0	0	0	0



基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

10月については、もともとある程度の調整局面を予想しておりましたので、日本株についての追加投資のチャンスがうかがっていました。

米国の債務上限問題が予想以上にこじれ、なかなか決着に至りませんでした。米国債のデフォルト懸念や政府職員の一時帰休による経済への影響懸念から、大きく調整するとのムードもありましたが、それほどの混乱にはならず、いったん先送り、という予定された結末になりました。ただその後も、アメリカ経済の細かい経済指標が示す懸念材料がQ E 3の出口戦略を遅らせ、結果として株価を押し上げるという奇妙な循環に入り込んでいます。

一方、日本では、10月後半に入り、企業の上期の決算が出はじめ、業績上方修正のニュースが目立ちますが、為替が円高方向に振れ、株式市場の調整が続いています。

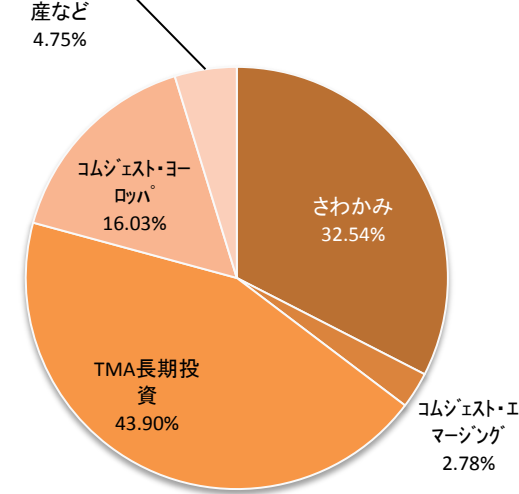
しかし、いずれにしても、日米の企業業績の改善は徐々に明確な形で見え始め、日本では、政府の賃上げ要請にこたえる形で、経営者からも前向きな発言が出つつあります。また、海外の投資家の日本への投資の動きも加速するという情報もあります。

こうした中、らくちんファンドは、TMA長期投資ファンドに追加投資し、今後の上昇局面に備えることができました。

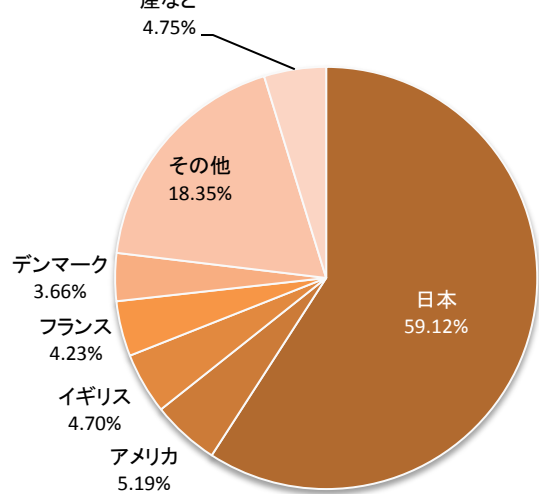
11月についても、調整局面を予想しており、相場が下がれば積極的な買いを入れてゆく予定です。

ポートフォリオの状況

資産構成比率



国別投資比率



らくちんファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数: 248銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入比率	組入れファンド名
1	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	2.68%	TMA長期投資
2	本田技研工業	二輪・四輪・汎用機を製造する世界的メーカー	1.80%	TMA長期投資
3	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	1.78%	さわかみ
4	エア・ウォーター	総合ガス企業	1.54%	TMA長期投資
5	日揮	石油精製・天然ガス処理等のプラント製造	1.45%	TMA長期投資
6	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	1.40%	TMA長期投資
7	SMC	空圧機器などを製造・販売(日本)	1.40%	TMA長期投資
8	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	1.36%	TMA長期投資
9	BG GROUP PLC	天然ガス事業主体のエネルギー企業(英国)	1.36%	TMA長期投資
10	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	1.34%	さわかみ

ファンドの特色

①「長期投資」を実現するためのファンドです。

- ・長期的に安定した運用が行われているファンドであり、かつ将来にわたってもその運用が継続される可能性が高い複数のファンドを厳選します。
- ・運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替え(現預金と組入れファンドの投資比率の変更)を大前提とし、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。
- ・運用にあたり、特定のベンチマークを設けることはしません。また、短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

②投資対象ファンドを厳選します。

- ・主として日本株、海外株等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
- ・ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視します。
- ・運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件です。
- ・基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかも重要な判断基準です。

③日本株および海外株へ広く投資します。

- ・投資対象であるファンドを通じて、先進国から新興国まで幅広く世界の株式を中心に投資します。
- ・国や企業の高い成長性を世界に求める一方で、グローバルな成長による恩恵を受ける日本企業へも日本株ファンドを通じて、積極的に投資を行います。
- ・日本株と海外株の投資比率は50:50を当面の運用目標としておりますが、相場環境等により、この比率は大きく変わることがあります。

④ファンド・オブ・ファンズの仕組み

- ・個別の株式、債券等に直接投資するのではなく、株式や債券等に投資している複数の投資信託に投資します。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	お申込日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.945%(税抜き0.90%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.3%(概算)
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

業務管理部からのお知らせ

紅葉の美しい季節となりました。
日毎に寒さが増す今日この頃、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

【特定口座の源泉徴収区分の変更について】

特定口座をご利用いただいているお客様の、2014年適用分源泉徴収区分の変更受付を開始しております。「源泉徴収あり・なし」の変更をご希望のお客様は、お電話にて「特定口座源泉徴収選択届出書」をご請求くださいますようお願い致します。

【所得税率変更予定のお知らせ】

平成26年1月1日以降は、軽減税率の特例措置が廃止となり、復興特別所得税と併せて、投資信託にかかる所得税率が以下のように変更となる予定です。

開始期間：平成26年1月1日以降

所得税率：20.315%（所得税15%、復興特別税0.315%および地方税5%）

* 法人の場合は、上記と異なります。

* 上記は平成25年10月末現在のものです。税法が改正された場合、上記の内容は変更になることがあります。課税上の取扱いにつきましては、最寄りの税務署にご確認ください。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成25年12月	受付終了	11月22日（金）	12月5日（木）	12月17日（火）
平成26年1月	12月3日（火）	12月17日（火）	1月6日（月）	1月17日（金）

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認（氏名、住所、現在の契約内容等）をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部（受付時間：平日9時～17時）
TEL:03-3222-1220 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります）に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

ファンドご購入方法のご案内

クローバー・アセットマネジメント株式会社

このご案内は2013年4月3日以前に当社に口座開設されたお客様向けのものです。

今までお取引のないファンドを購入する場合→ご注文(購入連絡)が必要です

1

お振込

○既にお取引しているファンドが1つの場合
→今までと同じ口座にお振込ください。

○既にお取引しているファンドが2つ以上の場合
→今までと同じ口座のいずれかひとつにお振込ください。

2

ご注文(購入連絡)

○購入ファンド名と購入金額をお知らせください。

【お電話】03-3222-1220

または

【HP】<http://clover-am.co.jp> 「ファンドのご注文(購入)」をクリック

3

受付完了

！申込当日の15時までに「お振込」・「ご注文(購入連絡)」をお願いします。

！「ご注文(購入連絡)」がない場合は、全額、お振込先口座のファンドの購入となります。

！ご注文(購入連絡)内容の変更・取消しは、申込当日の15時までとなります。

※ご注文内容の変更・取消しは、お電話でのみ承ります。

4

購入(約定)

○受付完了日の翌々営業日の基準価額での購入(約定)となります。

○取引明細を記載した「取引報告書」を送付いたします。

既にお取引している1つのファンドを購入する場合

今までと同じ方法(購入代金の振込後、ご注文なし)でお取引いただけます。

複数のファンドをまとめて購入することも可能です

複数のファンドを同時に購入する場合は、お持ちの口座のいずれか1つにお振込ください。※振込手数料が1回分で済みます。

お振込後、ご注文(購入連絡)を必ずお願いいたします。

ファンドのご解約(換金)はお電話(03-3222-1220)でのみ承っております